

大宮アルディージャのホームゲーム 開催に伴う年間経済波及効果

1. はじめに

大宮アルディージャは、2007年12月4日にクラブ設立10周年を迎えた。大宮アルディージャは、1998年にJリーグディビジョン2に加盟、2005年にはJリーグディビジョン1に昇格を果たしている。その中で、ホームゲームの年間観客数は1999年に48,133人(18試合)であったが、2007年には213,547人(20試合)と着実に増加してきている。大宮アルディージャは地域に密着したクラブ運営を行なっており、観客数の増加は埼玉県内経済の成長に寄与しているものとみられる。

そこで、大宮アルディージャのホームゲームの運営に伴う支出や観客の消費支出が埼玉県経済にどの程度の経済波及効果をもたらすのかを平成12年埼玉県産業連関表(注1)の32部門表を用いて試算した。

(注1)産業連関表は、産業相互間や産業・最終消費者間の取引を一覧表に集約したもので、その表から導き出される係数を使って経済波及効果を算出することができる。

2. 経済波及効果 ～年間約50億円～

経済波及効果は、直接効果と間接効果に分けられる。直接効果は、大宮アルディージャのホームゲームの運営に伴う支出と観客の消費支出の2つの需要が想定される。試合運営に伴う支出にはチームの運営費、球場使用料、会場警備、広告費などが、観客の消費支出には交通費、飲食費、グッズ購入などが見込まれる。

また、間接効果とは、試合の運営に伴う支出、飲食等の需要の増加に対応して、関連産業の生産が増える効果(間接1次効果)と、関連産業に従事する雇用者の所得増加が、消費を通じて新たに生産を誘発する効果(間接2次効果)のことである。

表1. 大宮アルディージャのホームゲーム開催試合に伴う年間経済波及効果

(単位：百万円)

直接効果 (最終需要) a	間接 1次効果 b	間接 2次効果 c	経済波及 効果合計 a+b+c	雇用創出 効果 (人)
3,254	914	833	5,001	519

直接効果は大宮アルディージャの試合運営に伴う支出の2,518百万円と、観客の消費支出736百万円を合わせて3,254百万円、間接効果は間接1次効果914百万円、間接2次効果833百万円を合わせ1,747百万円、これによる年間の経済波及効果は5,001百万円と試算した。直接効果の3,254百万円から5,001百万円と、1.54倍の経済波及効果(=経済波及効果/直接効果)が見込まれ、これにより519人の雇用が毎年維持されるものと推計した。

3. 直接効果(最終需要)の試算

(1) 試合運営に伴う支出 2,518 百万円

「2006 年度 J クラブ個別情報開示資料」によれば、大宮アルディージャの営業費用は 2,518 百万円計上されており、選手及びチームスタッフの person 費などのチーム運営費のほか、競技場使用料、競技場仮設設備設置費用、会場警備、広告費などが含まれているが、これを試合運営に伴う支出と想定し、埼玉県内で全額支出されるものとした。

(2) 消費支出 736.2 百万円

①埼玉県内開催試合年間観客数 240,000 人

1 試合当り観客数は、「大宮アルディージャ活動報告」や 2007 年の観客実績数などをもとに 12,000 人と想定した。また、2008 年のホームゲームは表 3 で示すとおり 20 試合である。1 試合当り観客数にホームゲーム試合数を乗じて埼玉県内開催試合年間観客数を 240,000 人と推計した。

表 2

県内開催試合 年間観客数	1 試合当り 観客数(人)	県内開催試合数	(人)
	12,000		20

表 3. 2008年ホームゲーム
Jリーグディビジョン1

開催日	対戦チーム	試合会場
3月9日(日)	アルビレックス新潟	NACK
4月2日(水)	名古屋グランパス	NACK
4月5日(土)	大分トリニータ	NACK
4月27日(日)	鹿島アントラーズ	NACK
5月3日(土・祝)	FC東京	NACK
5月10日(土)	コンサドーレ札幌	NACK
6月28日(土)	東京ヴェルディ	熊谷陸
7月12日(土)	ジュビロ磐田	NACK
7月27日(日)	清水エスパルス	NACK
8月16日(土)	ガンバ大阪	NACK
8月28日(木)	横浜F・マリノス	NACK
9月20日(土)	浦和レッズ	NACK
9月27日(土)	ヴィッセル神戸	NACK
10月4日(土)	柏レイソル	NACK
10月26日(日)	ジェフユナイテッド千葉	NACK
11月8日(土)	川崎フロンターレ	NACK
11月30日(日)	京都サンガF.C.	NACK
ヤマザキナビスコカップ		
3月23日(日)	横浜F・マリノス	NACK
5月25日(日)	大分トリニータ	NACK
5月31日(土)	アルビレックス新潟	熊谷陸

(資料)大宮アルディージャ公式サイト

(注2)一部開催日が変更になる場合がある。

(注3)会場名は略称とした。NACK 5 スタジアム大宮→「NACK」、
熊谷スポーツ文化公園陸上競技場→「熊谷陸」、埼玉スタジアム 2002 →「埼玉」

②交通費 287.5 百万円

1 人当り交通費は「2007 年 11 月大宮アルディージャ J リーグ観戦者調査」のアンケート結果から 1,198 円と想定した。1 人当り交通費に①で想定したホームゲーム年間観客数 240,000 人を乗じて交通費 287.5 百万円を推計した。

表 4

交通費	1人当り 交通費(円)	県内開催試合 年間観客数(人)	(百万円)
	1,198	240,000	287.5

③会場内の飲食費 71.9 百万円

会場内の1人当り飲食費は461円で、ホームゲーム年間観客数240,000人のうち65%の156,000人が会場内で飲食すると想定し、会場内の飲食費71.9百万円を推計した。

表 5

会場内の飲食費	会場内の1人当り 飲食費(円)	人数	(百万円)
	461	156,000	71.9

④会場外の飲食費 144.0 百万円

ホームゲーム年間観客数240,000人のうち30%の72,000人が試合の前後に会場外で飲食すると想定した。会場外の飲食は1人当り2,000円支出するものと想定し、会場外の飲食費144.0百万円を推計した。

表 6

会場外の飲食費	会場外の1人当り 飲食費(円)	人数	(百万円)
	2,000	72,000	144.0

⑤宿泊客の飲食・宿泊費 64.8 百万円

ホームゲーム20試合のうち、対戦チームの本拠地が県内から比較的遠方にあるため宿泊客が見込める試合は年間12試合で、観客数は144,000人(1試合当り観客数12,000人×12試合)と予想される。このうち3%の4,320人が宿泊し1人当り15,000円を支出すると想定し、宿泊客の飲食・宿泊費を64.8百万円と推計した。

表 7

宿泊客の飲食・ 宿泊費	1人当り飲食・ 宿泊費(円)	人数	(百万円)
	15,000	4,320	64.8

⑥グッズ購入 168.0 百万円

グッズを平均して1人当たり700円購入すると想定し、これにホームゲーム年間観客数240,000人を乗じて、168.0百万円と推計した。

表 8

グッズ購入	1人当りグッズ 購入(円)	人数	(百万円)
	700	240,000	168.0

4. 直接効果(最終需要)の産業別配分

試合運営に伴う支出 2,518 百万円全額を対個人サービスに配分した。また、消費支出 736.2 百万円のうち、交通費 287.5 百万円は運輸に、会場内の飲食費 71.9 百万円、会場外の飲食費 144 百万円及び宿泊客の飲食・宿泊費 64.8 百万円の合計 280.7 百万円は対個人サービスに、グッズ購入 168 百万円は商業にそれぞれ配分した。



大宮アルディージャのホームスタジアム「NACK5スタジアム大宮」

写真提供:大宮アルディージャ

5. 経済波及効果の内訳

経済波及効果の内訳をみると、先述のように(表9参照)直接効果は 3,254 百万円、間接1次効果は 914 百万円、さらに、生産の誘発に伴う雇用者所得(家計所得)の増加が消費支出に回って関連産業の生産を誘発する額(間接2次効果)は 833 百万円となった。経済波及効果の 5,001 百万円を産業別にみると、対個人サービスの 2,958 百万円が最も多く、次いで運輸の 465 百万円、商業の 399 百万円となった。

また、雇用創出効果について(注4)雇用係数を用いて推計すると、519 人の雇用が見込まれる。この雇用創出効果を産業別にみると、対個人サービスが 376 人と最も多く、次いで商業の 60 人、運輸の 36 人となった。(表9)

(注4)雇用係数は、雇用者数(有給役員・雇用者計)を当該産業の生産額で除すことで求められ、当該産業に1単位(100万円)の生産が増加することにより、雇用者が何人必要となるかを示している。したがって、雇用係数に経済波及効果で生じた生産額の増加分を乗じることにより、新たに必要となる雇用者の人数を計算することができる。ただし、実際の産業活動では、生産の増加を所定外労働時間(残業)などで対応する場合もあるため、そのすべてが雇用の増加に結びつくとは限らないことに留意する必要がある。

表9. 大宮アルディージャの経済波及効果(年間)

(単位:百万円)

産業	直接効果 (最終需要) a	間接1次効果 b	間接2次効果 (消費関連) c	経済波及効果 a+b+c	雇用創出 (人)
農林水産業	0.0	16.4	5.7	22.0	0.9
鉱業	0.0	0.6	0.2	0.8	0.0
食料品	0.0	71.8	26.9	98.7	3.7
繊維製品	0.0	0.4	0.7	1.1	0.1
パルプ・紙・木製品	0.0	8.4	1.9	10.3	0.5
化学製品	0.0	2.8	2.0	4.9	0.1
石油・石炭製品	0.0	1.3	0.5	1.9	0.0
窯業・土石製品	0.0	3.0	0.8	3.8	0.2
鉄鋼	0.0	0.2	0.1	0.3	0.0
非鉄金属	0.0	0.2	0.1	0.3	0.0
金属製品	0.0	3.2	1.0	4.1	0.3
一般機械	0.0	1.1	0.3	1.5	0.1
電気機械	0.0	0.6	2.6	3.2	0.1
輸送機械	0.0	3.0	6.3	9.3	0.2
精密機械	0.0	0.3	0.9	1.2	0.1
その他の製造工業製品	0.0	12.8	6.6	19.4	1.0
建設	0.0	15.2	7.2	22.5	1.6
電力・ガス・熱供給	0.0	61.6	23.6	85.2	0.8
水道・廃棄物処理	0.0	64.3	12.2	76.4	3.1
商業	168.0	126.4	104.4	398.8	60.1
金融・保険	0.0	84.4	44.0	128.4	7.3
不動産	0.0	69.5	272.4	341.9	2.8
運輸	287.5	121.7	55.5	464.7	36.0
通信・放送	0.0	51.5	34.9	86.3	2.5
公務	0.0	3.1	3.3	6.4	0.4
教育・研究	0.0	5.3	29.7	34.9	2.9
医療・保健・社会保障・介護	0.0	0.1	27.7	27.9	2.7
その他の公共サービス	0.0	6.6	6.3	12.9	2.7
対事業所サービス	0.0	108.8	33.6	142.5	13.4
対個人サービス	2,798.7	42.1	117.0	2,957.8	375.6
事務用品	0.0	10.4	1.7	12.1	0.0
分類不明	0.0	16.9	3.5	20.3	0.0
計	3,254.2	914.1	833.4	5,001.7	519.3

6. おわりに

大宮アルディージャのホームゲームに年間 240,000 人が観戦することを前提として、試合運営に伴う支出 2,518 百万円と観客者の消費支出 736 百万円が毎年発生し、これによる経済波及効果は 5,001 百万円にのぼるものと推計した。

大宮アルディージャはサッカースクールを県内 8 か所で展開するとともに、園児・小学生・中学生を対象にサッカー教室を開催している。こうした普及活動がボール、ユニフォーム、スパイクなどサッカー用具の消費拡大をもたらす経済波及効果も見込まれる。

昨年改修された大宮アルディージャのホームスタジアムである「NACK 5 スタジアム大宮」が今シーズンは開幕から本格稼働している。2011 年までに J 1 リーグ優勝を目指している大宮アルディージャの躍進が、埼玉県内経済の一層の活性化につながることを期待したい。